

金沢市人口ビジョン【改訂版】の概要

自然動態・社会動態の推移

自然動態 ・出生数 4,099(2010年) 2,004(2060年)
 ・死亡数 3,872(2010年) 6,454(2060年)
2015年に減少段階に入り、2060年は4,450人減少

社会動態 ・転入数 17,102(2010年) 14,793(2060年)
 ・転出数 15,918(2010年) 14,268(2060年)
2008年から増加傾向にあり、2060年は525人増加

市独自施策による人口の将来展望

出生数の増加：国の目標に準じ、合計特殊出生率を
1.6(2020年)→1.8(2030年)→2.07(2040年) に向上

転入の増加：移住・定住、UJI ターンの推進により **30人/年**の転入増

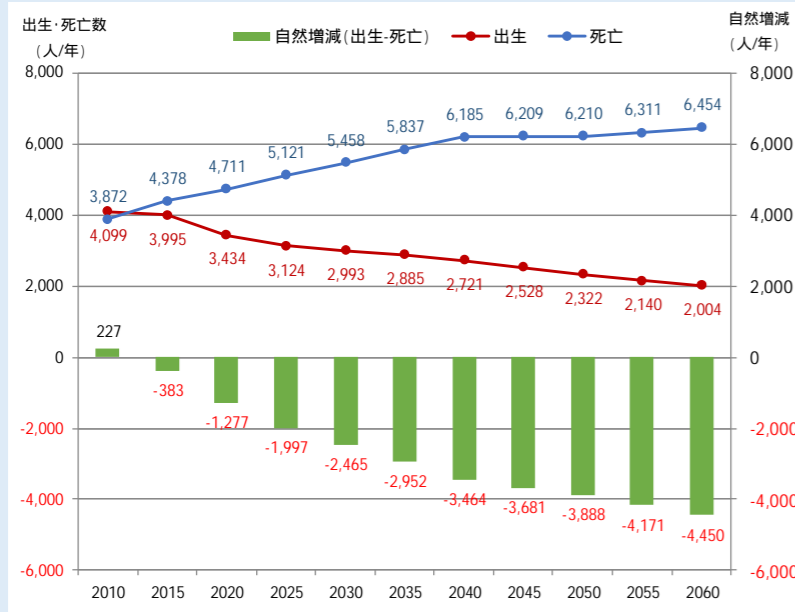
転出の抑制：高等教育機関との連携により、毎年市外へ就職する
 学生約2,000人のうち、**200人**(1割)の学生を本市に留める
学生の転出抑制からの若年層の増加により出生数もさらに増加

前回策定時に引き続き、社人研(2013)準拠推計をベースとするが、
 現況把握のため参考値として社人研(2018)準拠推計を掲載

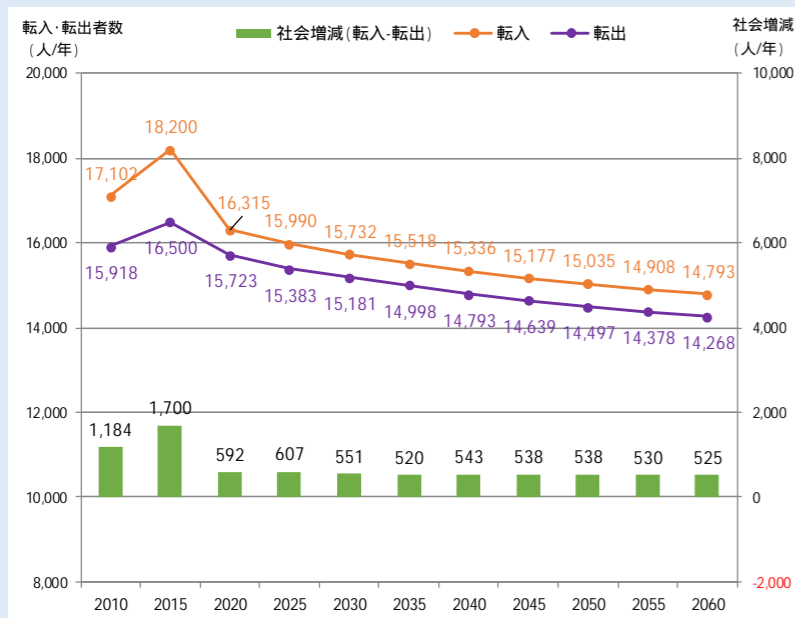
総人口の推移(将来展望)

・社人研(2013)による推計では、2060年に34万7千人まで減少する
 見込みであるが、**2030年までは現状の人口を維持し**、2060年
 には**社人研推計(2013)に対して8万5千人の増加**を目指す。
 子育て施策の充実などによる出生率の向上 **68,000人増加**
 固有の歴史・文化を持つ金沢の強みを生かした施策の推進に
 よる転出者の抑制など **17,000人増加**

自然動態の推移

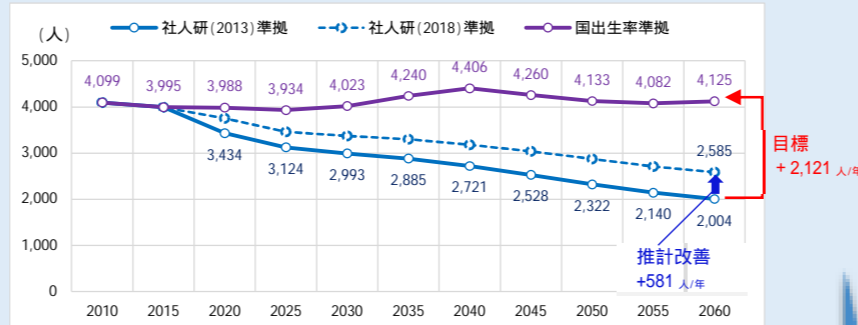


社会動態の推移

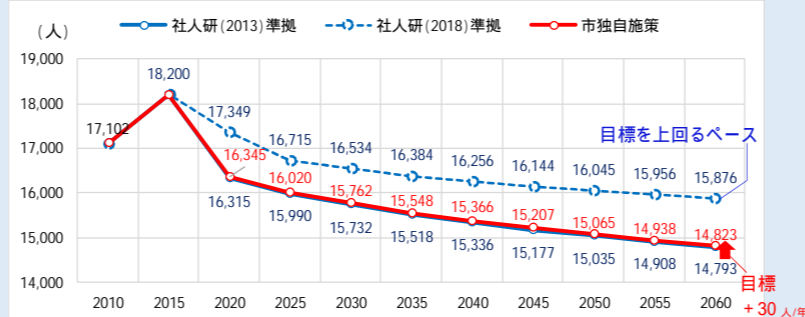


2008年～2017年までの実績値は転入超過で推移していたが、2018年は転出超過となったため、今後の社会動態については、特に注視していく必要がある。

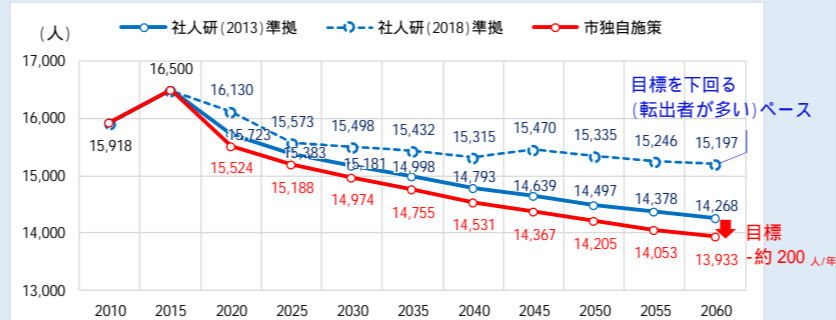
出生数の増加(推計)



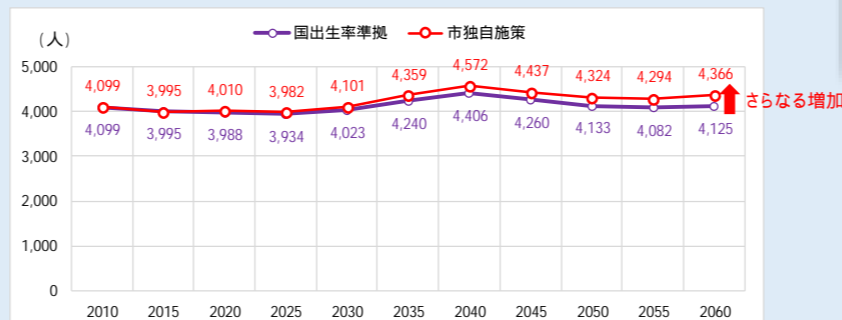
転入の増加(推計)



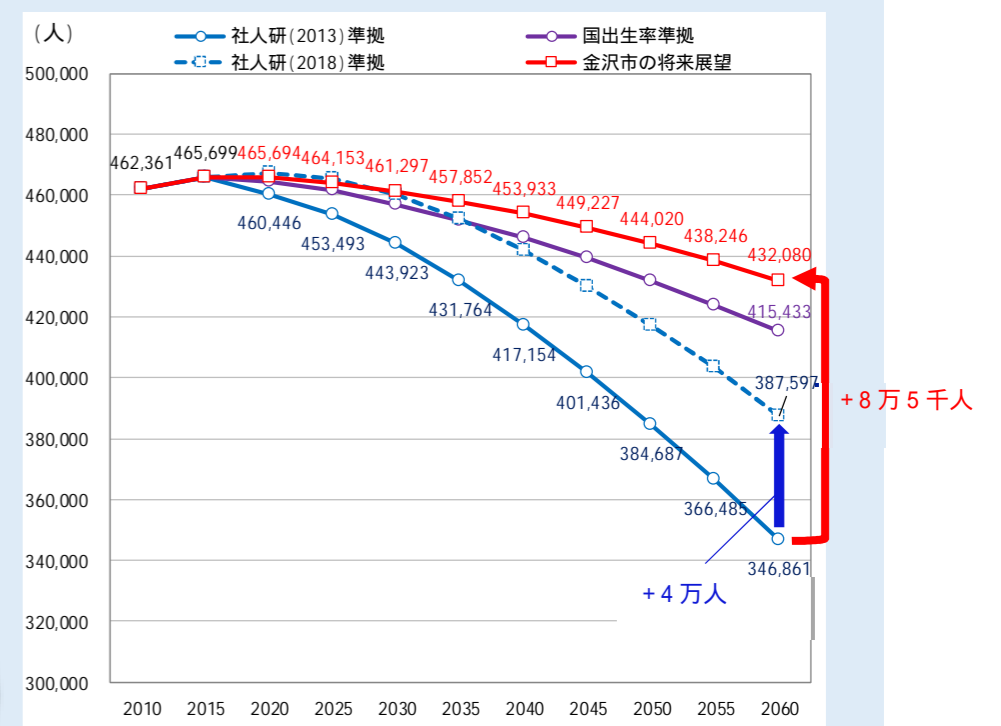
転出の抑制(推計)



社会増による出生数の増加(推計)



総人口の推移(将来展望)



参考:人口の増減の推移

